

## ❀ 「藤原宮跡資料室」の休日開館について

都城発掘調査部[飛鳥・藤原地区]では、奈良文化財研究所による藤原宮跡の発掘調査や研究成果の紹介を目的に、藤原宮跡資料室を1988年に設置し、以来、平日に限りその公開を続けてきました。しかし、かねてから藤原宮跡を訪れる観光客や一般市民の方々からの休日開館のご要望は強く、今回その声にお応えするため、橿原市地域振興局観光課等との協力体制のもと、2012年4月1日から、藤原宮跡資料室の年末年始を除く土・日曜日そして祝日の開館をおこなっています。

奈文研と橿原市は、この休日開館の実現のため、様々な準備をしてきました。開館以来四半世紀がたち痛んだ内装を新しいものに替え、あわせて展示品や開設パネルの一部もリニューアルし、さらに外国からの入館者への利便をはかるため、これまで日本語版しかなかった「特別史跡藤原宮跡」パンフレットについては英語、韓国語、中国語版を新たに用意しました。また、土・日曜日、祝日限定ですが、資料室へのアクセスを容易にし、かつ奈文研の飛鳥資料館、橿原市の藤原京資料室等周囲の文化施設を結ぶ周遊ルートを確立するために、近鉄八木駅を起点とするコミュニティバスが資料室前にも停車することになりました。

休日開館が始まって早2ヶ月、その開始にあわせて奈文研創立60周年記念展示「埋もれた大宮びとの横顔－藤原宮東面北門周辺の木簡」を実施したこともあり、約1,400名というこれまでにない数の入館者を迎えることができました。奈文研では、藤原宮跡資料室が観光客や一般市民の方々からこれまで以上に親しまれるよう、これからも様々な取り組みをおこなっていく予定です。

(都城発掘調査部 渡辺 丈彦)



リニューアルされた藤原宮跡資料室